

インターンシップに参加して

中京学院大学 3年 Y.S

9月17日～21日までの5日間、岐阜県揖斐郡にある、株式会社KUBOXT 中日本 FACTORY さんのインターンシップに参加しました。

初日に物流業界や株式会社KUBOXTについて学び、2日目以降から広報業務や事務作業、倉庫作業など、さまざまな業務を実体験しました。

初日の座学では、物流業界はどのような過程があって現状に至っているのか、業界の仕組みはどうなっているのかなどを具体的に知ることができたので面白かったです。また、株式会社KUBOXTは営業に力を入れることよりも、働いている一人ひとりの人の良さを重要視することで、顧客の獲得につなげているのだとわかりました。



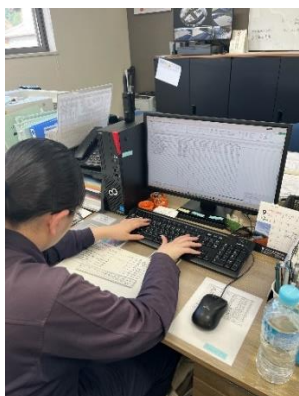
2日目には、地域と防災協定を結ぶ調印式に、実際に参加させていただきました。会社が社会貢献や地域貢献をしている過程を実際に見ることができ、企業と町が互いに助け合いながらそれぞれの事業を行っているのだと学ぶこともできました。滅多にない機会に同行させていただいて、貴重な体験ができました。



その後は、広報業務や事務作業を体験。

特に、広報業務は、実際に見たことをホームページに掲載する記事を作成して、伝えたいことを簡潔にわかりやすくまとめることに苦労しました。また、公式のホームページ用ということもあり、言葉の言い回しにも苦戦しました。広報業務を行って、大学でのレポート作成の経験は大切なことがわかり、残りの大学生活ではより力を入れてレポート課題に取り組みたいと思いました。

事務作業は、特に日報処理、伝票作成、入庫処理などを体験しました。運送会社であることから金額もそうですが、時間にも正確さやスピードが必要とされる業界だと感じました。決まった時間に決まった数を的確に運ぶためにも、ドライバーさんだけでなくそれを情報管理する事務も、大切な役割を担っていると知ることができました。



さらに現場での倉庫作業も体験しました。暑い中で日々仕事をされている大変さと体感しました。検品作業では、ピッキングされた荷物を専用の機械を使って検品しましたが、漏れがないように正確に、どの順番で、どの方向に検品すればいいのかわかりながら進めることが難しいと感じました。どの作業も見ているのと実際やるのでは全く異なり思っている以上に難易度が高かったです。しかし、なぜ検品やラッピングをしなければいけないかを理解することができました。



最後に、今回のインターンシップに5日間参加してみて、普段見えていない部分や就職しなければ知ることができない仕事をたくさん理解することができました。そして改めて物流業界は面白いと感じました。

このインターンシップでは調印式やドライバーの仕事を支える事務の仕事、実際の現場の仕事など貴重な体験ができ、残りの大学生活で、どのようなことに取り組んで社会人になる準備をすれば良いのかを学びました。

中日本 FACTORY をはじめとする株式会社 KUBOXT の社員の方々には5日間たくさんお世話になりました。この貴重な体験を活かしてこれからの自分自身の就職活動につなげていきます。ありがとうございました。

